

# インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) リッシュウダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) カワグチゼミナール
立正大学	経済学部	川口ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) カワグチゼミエーチーム	フリガナ) ドバシリサ	4	無	
川口ゼミ A チーム	土橋里紗			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

無

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

銀座の新旧コミュニティ ～閉鎖型か開放型か～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

私たちが、今回研究テーマとして重きを置いたのは、銀座という街である。銀座という街は私達が考えるに他の街と違い特殊な部分が多いと感じる、私達はこのインナー大会のプレゼンテーションを通して、銀座という街だけで通じる独自のルール、独自のコミュニティ、名前が付いただけで価値が変わる付加価値、地価など、これらのように未知な部分が多い銀座を少しでも解明し、今の銀座の現状を分析し、今の現状が良いのか悪いのかを他の成功事例や先行研究に基づいて分析、検証をしていきたい。

## 2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

現在の銀座は、銀座に住んでいる定住人口が約3500人でそれに対し、就業者人口や来街者などの昼間人口は約27万人と銀座では昼間人口が多くを占めている。しかし、来街者や就業者数と比較して定住人口が非常に少ない分、老舗

の事業者など昔から住んでいる住民同士に交流が深いという特徴がある。また、銀座は固定資産税や地価が高いという特徴もあり、新たに移住したり、企業が参入するのは厳しい状況にあると言える。

そこで私たちは、銀座の街の状況、街の人たちの関わりを調査するため、何度も現地に足を運び、ヒヤリングを重ね、銀座で行われたいくつかのイベントにも参加させていただいた。現在、銀座には古くから存在する旧コミュニティと近年にできた新コミュニティがある。旧コミュニティとしては大正時代に設立した銀座通連合会が存在する、銀座1～8丁目、中央通り、晴海通りなど銀座を代表するメインストリートの店舗、事務所の代表者で構成されており、後、2001年に銀座通連合会を中心として町会、業種業態の組合や任意団体などの33の組織で構成された全銀座会という銀座内最大の組織となった。全銀座会は、様々な活動を行っており、例えば、未来の銀座を担う銀座の老舗若旦那や、商店・会社経営者で構成される銀実会という団体は、今まで培ってきた銀座の品格を保ちつつ、銀座の新しい文化を取り入れる発展のため、若者の視点から様々なイベントの企画、運営、警備を行っている。また、私たちも参加させていただいた、8月31日開催の震災訓練などは、防災対策委員会という組織が行っており、今年で37回を迎え、帰宅困難者の受け入れ体制の強化や、水上バスでの浜離宮への移動などの訓練を行っている。防犯対策についてはGSKという銀座社交飲料協会と銀座通り連合会という二つの組織で、地域の防犯意識向上を目的とする防犯パトロールが行われており、その内容としては、チラシ配りや勧誘行為への指導、店の置き看板設置場所の指導、路上駐車中の観光バスの案内や誘導などを行っている

### 3. 研究テーマの課題

総務省によると、一般的なコミュニティとは生活地域、特定の目標、特定の趣味など何らかの共通の属性及び仲間意識を持ち、相互にコミュニケーションを行っているような集団であると定義づけられている。さらに都市研究センターの久繁様の研究によると、都市活性化には各地域の個性・資源に着目し、それを有効に生かす施策が必要であり、景観や施設といった目に見えるものを整備する投資だけではなく、それに何らかの付加価値をつけることが求められ、その主体として期待されるのがコミュニティであると記されている。

また、コミュニティは閉鎖型と開放型の二つに分類される。

閉鎖型コミュニティとは、定住者による、定住者のための組織化、活動を行うコミュニティのことを言い、昔からの定住者が、移住民や仮住民を受け入れていないことにより形成されてしまう。閉鎖型になることで、外から人も情報も入らなくなり、街の衰退の原因に繋がってしまう。二つ目の開放型コミュニティとは、就業者や観光客などの外から関与する者と定住者が交流し組織化、活動を行うコミュニティのことを言い、開放型コミュニティを形成することで多様な人との情報交換・交流が可能になり、街の繁栄に繋がる。

このように開放型コミュニティに基づく街作りには定住民、就業者、観光客3者の交流が不可欠である。では銀座は、開放型コミュニティと言えるのだろうか。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

先でも、記したように旧コミュニティの全銀座会は防災委員会の行っている震災訓練やGSK銀座社交飲料協会の行っている防犯パトロールなど様々な活動を行っているなど全銀座会の活動により定住民と就業者の交流ができていたことがわかった。また、私たちは銀座ミツバチプロジェクトが中心となり行われたファームエイド銀座に参加させていただき理事長の田中様にお話を伺ったところ、新コミュニティである銀座ミツバチプロジェクトは大まかに幹部、養蜂家を中心とした役員、自治体や企業などの地域外、さらにボランティアや商売をしている

人などの地域内の3つで構成されている。また、弁護士、心理カウンセラー、都市プランナー、スイーツのパティシエなど様々な業種の方にご協力いただいているようだ。さらに、様々な活動も行っており、都市農村交流ツアーや被災地とのコラボ商品開発など、新たに銀座と関わりたい団体やお店を出したい人、自分の商品をPRしたい人たちの交流の場となっていた。

以上のことから、定住民と就業者の繋がりを旧コミュニティの全銀座会が形成し、観光客と就業者の繋がりを新コミュニティである銀座ミツバチプロジェクトが形成していることがわかった。しかし、銀座には定住民と観光客の繋がりが少ないことがわかる。

## 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

全銀座会 亀岡様にヒヤリングをさせていただいた結果、老舗の店主や町内会の方が多く全銀座会では関わりがとて深く、反対に外部との関わりはあまりないとおっしゃっていた。

また、新規の参入企業は住民、内部就業者のコミュニティに入りづらい環境であるということもわかり、以上より、銀座の街は開放型コミュニティを形成していないと言える。

## 6. 結果や今後の取り組み

銀座の街は開放型コミュニティを形成していないため、閉鎖的なコミュニティになっていき、今後の街の発展を妨げる可能性があるということがわかった。昼間人口が多い街だからこそ開放的なコミュニティを形成する必要があると考え、そこで私達はミツバチと全銀座会の人的ネットワークを利用して新たに銀座に参入してきた企業と来街者の方々が参加しやすいようなイベントを開催したい。

イベントを開催することにより、定住民と観光客の方々との関わりが増えることが見込まれると考える。そうすることで、開放型コミュニティをつくるために必要な、街に関与する全ての人との交流が可能になり、私達の活動により銀座の街全体が一体となって銀座の街はさらに発展を遂げ今後も最先端の街であり続けるであろう。

## 7. 参考文献

・銀座人口

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00200521&tstat=000001080615&cycle=0&tclass1=000001094495&tclass2=000001094508&second=1&second2=1>

・新宿人口

<http://www.city.shinjuku.lg.jp/content/000174660.pdf>

[http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index02\\_101.html](http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index02_101.html)

・都市研究センター研究員 久繁氏 論文

[http://www.minto.or.jp/print/urbanstudy/pdf/u46\\_04.pdf](http://www.minto.or.jp/print/urbanstudy/pdf/u46_04.pdf)

・銀座通連合会

[http://www.chuo-shokogyo.jp/syoutngai/kameidantai/kaimei\\_info/kaimei\\_info\\_10.html](http://www.chuo-shokogyo.jp/syoutngai/kameidantai/kaimei_info/kaimei_info_10.html)

#### <企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。
- ※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。
- ※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。
- ※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。
- ※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

---

**↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください**